

【別紙1】

- ※1 Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略でZEB(ゼブ)。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物。
- ※2 子ども一人に成人並の外気提供を計画。開所後は室内CO₂濃度を監視し、自然通風実施のサインとする計画。
- ※3 計画段階より複数の指標を用いてシミュレーションした学びの施設の建築は竹中工務店様でも初の試み。
- ※4 Building Information Modeling(ビルディング インフォメーション モデリング)の略でBIM(ビム)。コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うためのソリューション。

<工 事 概 要>

名 称 : パッシブタウン第4期街区工事
所 在 地 : 富山県黒部市三日市 4016 番地 1
施 主 : YKK不動産株式会社
設 計 : (総合設計)株式会社田口知子建築設計事務所
(環境設計)合同会社スタジオノラ
(設備設計)株式会社竹中工務店
(ランドスケープ設計)設計組織 PLACEMEDIA
施 工 : 平野工務店株式会社
総 事 業 費 : 約3.5億円
工 期 : 2021年4月～2022年3月(予定)

<建 築 概 要>

建 築 用 途 : 保育所
敷 地 面 積 : 3167.55 m²
構 造 : 木造平屋建
屋 外 駐 車 場 : 3台(他に車寄せ3台)

<施 設 関 連>

園 児 定 員 : 30名(従来は15名)
開 所 時 期 : 2022年3月予定
運 営 : 社会福祉法人あいじ福祉会



パッシブタウン全体(第4期街区予定地)



第4期街区完成イメージ図

【別紙 2】

パッシブタウン第4期街区 設計者プロフィール①

総合設計者: 田口 知子(たぐち ともこ)

株式会社田口知子建築設計事務所 代表取締役



1966	広島県福山市出身
1990	東京大学工学部建築学科卒業
1990～1998	長谷川逸子・建築計画工房勤務
1999	田口知子建築設計事務所設立
2001～2014	日本大学、東京理科大学、法政大学建築学科非常勤講師
2013～2016	東京大学大学院新領域科学研究科非常勤講師
2017～	明星大学建築学部非常勤講師
2020～	株式会社 田口知子建築設計事務所 代表取締役

自然との共生、人のつながりをテーマに、住人の多様性、利用者とのコミュニケーションを重視し、使いやすく愛される建築を目指し設計を行う。得意な建築分野は住宅、共同住宅、福祉施設、公共建築。代表作には「キッズタウン東十条保育園」(2011年 Good Design 賞受賞)「武蔵小山アパートメント」「うつのみやアパートメント」「三角地の家」「楓荘」(2019年マロニエ建築優良賞)ほかがある。

環境設計者: 谷口 景一朗(たにぐち けいいちろう)

合同会社スタジオノラ 共同主宰



1984	兵庫県赤穂市出身
2009	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了
2009～2016	日建設計
2016～	東京大学大学院特任助教着任
2016～	スタジオノラ共同主宰
2020～	東京都立大学、武蔵野美術大学、千葉工業大学非常勤講師

熱環境や風環境、光環境といった各種環境シミュレーションを活用した設計手法の提案と実践をテーマに建築設計・環境デザインを手掛ける。主な担当として「小学館ビル」「荒川ビル」「下馬の住宅」など。日本建築学会教育賞(2018年 教育貢献)、日本建築学会作品選集新人賞(2020年)、空気調和・衛生工学会賞技術賞(2020年)などを受賞。パッシブデザイン性能研究部会員。

【別紙 3】

パッシブタウン第4期街区 設計者プロフィール②

設備設計者: 高井 啓明(たかい ひろあき)

株式会社竹中工務店 設計本部
プリンシパルエンジニア



1958	神奈川県出身
1982	早稲田大学大学院建設工学専攻修了
1982	竹中工務店入社
2001	東京本店設計部設備部門マネージャー
2007	設計本部設備担当部長
2015～	設計本部 プリンシパルエンジニア(環境)

環境デザインを数多く手掛ける。国土交通省建築環境部会、日本サステナブル建築協会、空気調和・衛生工学会、CASBEE 研究開発委員会等で理事、幹事等として活動中。主要な作品としては東京・福岡・大館・札幌ドーム、東京サンケイビル、竹中東京本社屋、日産本社、国立台湾大学図書館、台中国家歌劇院、東関東支店 ZEB 改修などがある。第 11 回井上宇市賞(2021 年)などを受賞。

ランドスケープデザイナー: 宮城 俊作(みやぎ しゅんさく)

設計組織 PLACEMEDIA パートナー
ランドスケープ・アーキテクト、都市デザイナー



1957	京都府宇治市出身
1983	京都大学大学院修士課程修了
1986	ハーバード大学デザイン学部大学院修了 米国内の設計事務所勤務
1992	千葉大学緑地環境学科 助教授
1993	農学博士(京都大学)
2001	奈良女子大学住環境学科 教授
1992～	設計組織 PLACEMEDIA パートナー
2012	奈良女子大学大学院 教授
2019～	東京大学大学院教授

環境共生をデザインするランドスケープ・アーキテクチャの日本における第一人者であり、国際的なフィールドで活躍するランドスケープ・アーキテクト。パッシブタウンの第 1～3 街区およびセンターコモンのランドスケープ設計を手掛ける。近年の代表作には、富山県立ふるさと文学館(高志の国文学館)、神宮式年遷宮記念「せんぐう館」、ザ・キャピトルホテル東急、GINZA SIXなどのランドスケープデザインがある。

【別紙4】**新しい「たんぽぽ保育園」について****< 保育所概要 >**

名称	たんぽぽ保育園 (Tampopo Child Center)
事業主体	YKK株式会社
運営主体	社会福祉法人あいじ福祉会
運営場所	富山県黒部市三日市 4016 番地 1 パッシブタウン第 4 期街区
運営開始	2022 年 3 月 予定
延床面積	1階 469.99 m ² 園庭 161.12 m ²
保育対象	YKKグループに勤務する従業員が養育する 0 歳(生後 8 週間)～2 歳児
保育定員	30名
保育時間	当社稼働日の 7:00-18:00(延長保育時間 18:00-20:00)

< 理念・方針 > 社会福祉法人あいじ福祉会より

【基本理念】 乳幼児の最善の利益を図る

【保育理念】 人間性のすぐれた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする

- 【保育方針】**
1. 生命の保持と情緒の安定を図る
 2. 豊かな人間性を養い、思いやりの心を大切にする
 3. いろいろな活動を通して学習し、豊かな感性を育てる
 4. 十分に甘え、十分に愛される体験を大切にする